

第32回
国民文化祭・なら2017

第17回
全国障害者芸術・文化祭なら大会

事業計画

CONTENTS

開催概要	1
基本理念・テーマ	2
プロモーションツール	3
事業計画	4~5
プロモーション計画	6
その他	7

平成28年4月

第32回国民文化祭奈良県実行委員会
第17回全国障害者芸術・文化祭実行委員会

はじめに

奈良県では、2017年秋に「第32回国民文化祭・なら2017」・「第17回全国障害者芸術・文化祭なら大会」を全国で初めて一体開催することとなりました。

2020年の東京オリンピック、パラリンピックを見据え、観光・文化・スポーツの振興を重要な取り組みとして力を入れている中、同大会の開催は、文化という奈良のブランド力を、全国に、世界に発信する大きな契機となります。

歴史と文化の豊かな蓄積を誇る日本文化のはじまりの地・奈良の価値をより明確にできる奈良らしい大会にいたします。

1 大会名

**「第32回国民文化祭・なら2017」
「第17回全国障害者芸術・文化祭なら大会」**

2 主催者

文化庁 厚生労働省 奈良県
第32回国民文化祭奈良県実行委員会
第17回全国障害者芸術・文化祭実行委員会
市町村 市町村国民文化祭実行委員会
文化芸術団体

3 開催期間

平成29年9月1日(金)～11月30日(木) [91日間]

4 開催場所

県内全39市町村で開催予定

5

基本理念・テーマ

○「大和は国のまほろば たたなづく青垣山こもれる やまとしうるはし」(古事記)と称えられた奈良は、日本文化を代表する様々な文物の発祥の地でもあります。同時に、古来の文化と渡来の文化が交流・融合を果たし、日本文化独自のダイナミズムが生み出された場所です。

○現在、日本各地で祭りや踊りなど地域に根ざした伝統行事があり、日常の稽古事や趣味を含め盛んに文化活動が行われているのは、こうしたダイナミズムの下で文化が育まれ、受け継がれてきたからにほかなりません。

○「第32回国民文化祭・なら2017」・「第17回全国障害者芸術・文化祭なら大会」は、国家形成の地である古都奈良から日本文化の真髄を探り、その厚みと深みを再認識するとともに、今に繋がる多種多様な文化活動を堪能、展開することにより、継続性と包容力を特色とする日本文化を広く発信する機会とします。

○全国で初めて国民文化祭と障害者芸術・文化祭を一体開催することにより、文化芸術が障害のある方の活力の源になるとともに、障害のある方とない方の新たな関係性が生まれることも期待します。

○奈良県は、この一体開催を、文化を奈良県のブランドとして全国に、そして2020年東京オリンピック・パラリンピックに向け、世界に力強く発信していく契機とします。古都奈良が日本文化の原点であったように、国民文化祭で生まれる新たな交流を触媒として日本各地の文化力を盛り上げ、我が国が目指す文化芸術立国の礎となることを目指します。

日本文化の源流を探る ～ 日本文化の源流を国際的つながりも視野に掘り起こす

文化の今を楽しむ ～ 積み重なった今ある日本文化の厚み、深みを堪能する

文化芸術立国の礎を築く ～ 文化の交流で地域に元気をつくる

障害のある人とない人の絆を強く ～ 文化の力で新たな関係をつくる

6

シンボルマーク 国民文化祭の統一のシンボルマークとして、
昭和61年の第1回東京都開催から採用

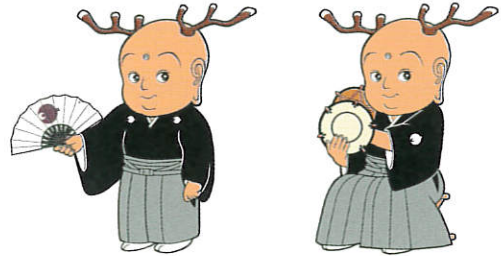
「文化は人間の知恵であり、秩序ある生活との結合であります。限りなく広がる文化へのあこがれを、歓喜の人形(かた)の構成でイメージしたデザインです。日本古来の古代紫を基調に、明るさを加えて、新しい日本の未来色のイメージにした色彩計画です。」

福田 繁雄(グラフィック・デザイナー)

7

マスコットキャラクター

小鼓や舞扇を持ったせんとかんが
奈良県の文化を紹介します。



© NARA prof.

藪内 佐斗司(彫刻家)

8

公式ポスター 制作中
1年前よりプロモーション展開

「大古事記展に出品した作品も、まさしく日本文化の源流をイメージしたものでした。奈良県が取り組んでいる記紀万葉プロジェクトからイメージを膨らませます。」

絹谷 幸二(洋画家)

9

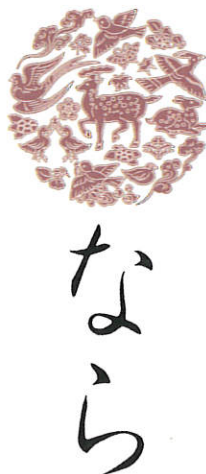
イメージソング 制作中
1年前よりプロモーション展開

「日本文化の源流を探るという基本理念から自分なりに歌をイメージしてみたら、古事記、日本書紀から題材を取るべきだとの考えに至りました。」

新井 満(作家、作詞・作曲家)

10

ロゴマーク



ロゴマークを考えるにあたり、奈良にまつわる文化を紐解いてみました。そして、奈良が最も栄えていたと言える奈良時代に作られた書体、宝物、文化などを参考に作成しました。ロゴタイプは、奈良時代に確立した書体である「楷書」をベースにし、シンボルマークは、正倉院の宝物に描かれた動植物を円形に配置。円形は、奈良時代から国家的にも重宝されたとされる陰陽道の象徴、月と太陽の形です。また、円形に動植物を配置することで、天地自然の美しさを表す花鳥風月に囲まれた鹿、という構図にもなっています。シンボルマークの色には、奈良県の色であり、奈良時代に日本に伝わり正倉院の御物にも用いられた「蘇枋(すおう)」を選びました。国民文化祭、障害者芸術文化祭をはじめ、奈良県の文化を表現するマークとしてみなさんに親しんでいただけたら幸いです。

水野 学(クリエイティブディレクター)

11

事業構成

(1) 主催事業

- ① 総合フェスティバル
開会式
閉会式
- ② シンポジウム事業
- ③ 国際交流事業
- ④ 障害者交流事業
- ⑤ 分野別フェスティバル

(2) 協賛・応援事業

12

事業別計画

① 総合フェスティバル

(1) オープニング

開催日／平成29年9月2日(土)

会場／未定

内容／① プロローグ

「国際的な視点から日本文化の源流を探る」をテーマに映像を中心とした演出

② 開会式典

・主催者あいさつ

③ フェスティバル

「歴史的な視点から日本文化の源流を探る」をテーマにステージパフォーマンスを中心とした演出

④ エピローグ

ゲストと観客全員でイメージソングを合唱する参加体感型の演出

(2) フィナーレ (次開催地への引き継ぎ)

開催日／平成29年11月26日(日)

会場／奈良県文化会館国際ホール

内容／・国民文化祭の後夜祭として、すべての参加者が楽しめる雰囲気演出

・東大寺の大仏造立と宇佐八幡との歴史的な縁(えにし)をテーマにした演出で、奈良県から次期開催県の大分県に国文祭の旗を引き継ぐ



② シンポジウム事業

- ・奈良発祥の日本文化をテーマに「フォーラム・NARA～日本文化の源流を探る～」をシリーズ開催
- ・日本アートマネジメント学会全国大会の誘致、共催
- ・食文化シンポジウム(シェフェスタ、NAFICとの連携)の開催
- ・観光プロモーションや旅行商品造成と連動したシンポジウムの開催
- ・県内39市町村の地域文化を訪ね現地で学ぶカルチャーシンポ&ウォーク
- ・「障害者×アート」芸術の新しい可能性を探るシンポジウム
- ・アートマネジメントと障害者の芸術表現の可能性を探るシンポジウム



ほか

③ 国際交流事業

- ・海外から招聘した著名アーティストによる音楽イベントの開催
- ・「東アジア連携事業」と連携した事業の展開
- ・アジア太平洋観光交流センターと連携したワークショップ・シンポジウムの開催
- ・東アジア障害者アート展、障害者アートドキュメンタリー映像

ほか

④ 障害者交流事業

- ・ソーシャル・インクルージョンによる参加型プログラム
- ・奈良の歴史や文化を生かした障害者アートプロジェクト
- ・ハンズオン体験&ガイド ～日本文化の源流～

ほか

⑤ 分野別フェスティバル

市町村連携事業 (伝統文化・歴史文化・音楽・美術・演劇 等)

♪ 町会
草履
運動
ハニエカ...

⑥ 協賛事業(文化庁承認事業)・応援事業(奈良県承認事業)

奈良県大芸術祭 (共催)

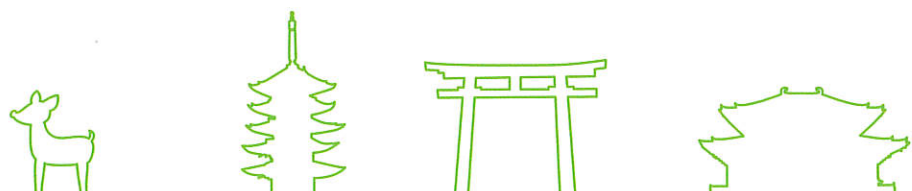
- ・地域の伝承芸能フェスティバル「大和のまつり」 等

奈良県障害者芸術祭HAPPY SPOT NARA (共催)

- ・障害のあるアーティストによる県内の学校でのワークショップ 等

県内外の文化芸術団体、民間企業、教育機関などが主体となり、奈良県が広報等の支援をする事業

ほか



(1) プロモーション戦略

平成28年度

- 各種メディアを効果的に組み合わせたプロモーション展開
- プレイベントを実施することによるプロモーション展開
- 大会ポスター、チラシ、マスコットキャラクター、イメージソング、ロゴマーク、プロモーション映像などを活用したプロモーション展開

平成29年度

- 前年度のプロモーション展開の継続、拡大
- 観光、物産、グルメ等周辺情報の発信

(2) プロモーション展開

500日前(2016年4月19日)

- ・公式HPおよびSNS(FBなど)の立ち上げ
- ・カウントダウンボード(県内数ヶ所の予定)の設置
- ・キックオフイベント(プロモーション映像の公開等)

その後、順次展開

- ・公式ノベルティーの制作
- ・県および市町村主催イベントと連携した事前PR
- ・せんとくん&事前PR隊の編成
- ・「ムジークフェストなら」イベントとの連携

1年前(2016年9月3日)

- ・イメージソングを活用したプロモーション展開
- ・「奈良県大芸術祭」イベントとの連携
- ・「奈良県障害者芸術祭HAPPY SPOT NARA」イベントとの連携

その後、順次展開

- ・「第31回国民文化祭・あいち2016」フィナーレでの演出(2016年12月3日)
- ・「第16回全国障害者芸術・文化祭あいち大会」へのPR隊の出演(2016年12月9～11日)
- ・公式ポスターを使った2017年カレンダーの制作

200日前(2017年2月13日)より順次展開

- ・県外プロモーションイベントスタート
→首都圏観光プロモーションイベントと連携
- ・県および市町村主催イベントと連携した事前PR

100日前(2017年5月24日)より順次展開

- ・県内プロモーションイベントスタート
→「文化の火」聖火リレー ～せんとくんと走ろう～
- ・「ムジークフェストなら」イベントとの連携

14 おもてなしプロジェクト

- ・ 県民サポーター(ボランティア)によるガイド
- ・ あいサポーターによる障害種別に応じたサポート
- ・ 展覧会、イベントにおける手話や説明ガイド
- ・ 車イスの常備
- ・ 託児サービス など

15 実行委員会開催スケジュール(一部予定)

平成27年8月6日 第32回国民文化祭奈良県実行委員会設立総会・第1回実行委員会

平成27年10月5日 第32回国民文化祭奈良県実行委員会第2回実行委員会
第17回全国障害者芸術・文化祭実行委員会設立総会・第1回実行委員会

平成28年3月24日 第32回国民文化祭奈良県実行委員会第3回実行委員会
第17回全国障害者芸術・文化祭実行委員会第2回実行委員会

平成28年7月 第32回国民文化祭奈良県実行委員会第4回実行委員会
第17回全国障害者芸術・文化祭実行委員会第3回実行委員会

平成29年3月 第32回国民文化祭奈良県実行委員会第5回実行委員会
第17回全国障害者芸術・文化祭実行委員会第4回実行委員会

平成29年7月 第32回国民文化祭奈良県実行委員会第6回実行委員会
第17回全国障害者芸術・文化祭実行委員会第5回実行委員会

平成30年3月 第32回国民文化祭奈良県実行委員会第7回実行委員会(解散)
第17回全国障害者芸術・文化祭実行委員会第6回実行委員会(解散)
